

11学級 242名

取組概要

上堅田小学校では、佐伯南中学校区CS「未来創造」の教育目標として『未来』を創る力を身につけ、たくましく生きる「児童生徒」の育成を目指し、佐伯南中学校区共通の課題・取組の方向性を踏まえつつ、上堅田小学校としての具体的な取組を定め、月1回の自己評価やチーム会議で進行管理しながら、取組を推進している。

工夫・ポイント

- 【学校マネジメントの工夫】
- ◆各校の各種調査結果、児童生徒アンケート、教職員アンケート等による実態把握に基づき、CS5校において検証・改善に取り組んでいる。
 - ◆「学力向上」「生活指導」「体力向上・健康安全」「児童支援」の4チームを構成、月1回のチーム会議で検証・改善を行っている。また、重点的取組・取組指標は毎月末に教職員の自己評価を実施して取組状況の確認等を行っている。

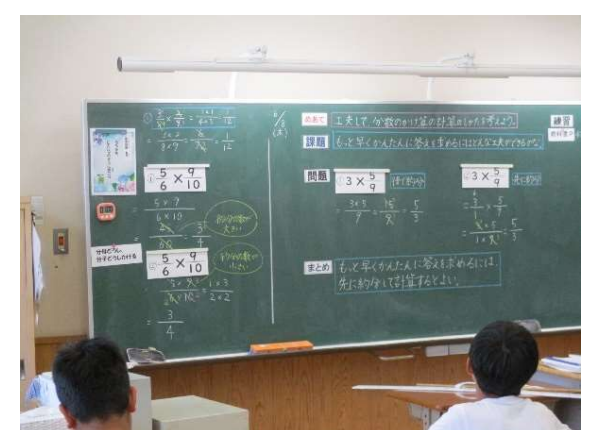
働き方改革の工夫

- ◆校時表を工夫して、ほぼ週4日15:00まで児童を下校させ、教員の授業準備等の時間を確保している。
- ◆学年部で交換授業を行い、教材研究の時間を短縮している。
- ◆タブレットで取り組む宿題（音読等）を行い、プリント印刷や紙でのチェックの作業時間を短縮している。

授業づくりの工夫



授業冒頭に前時の学びを振り返り「リフレクションタイム」



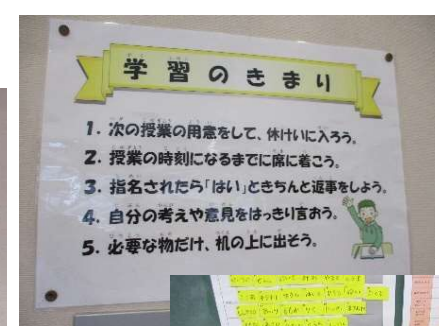
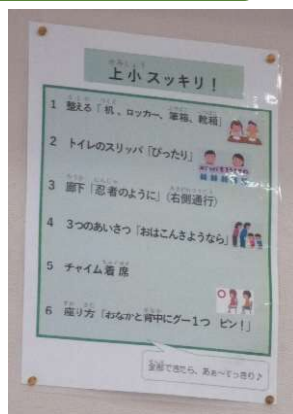
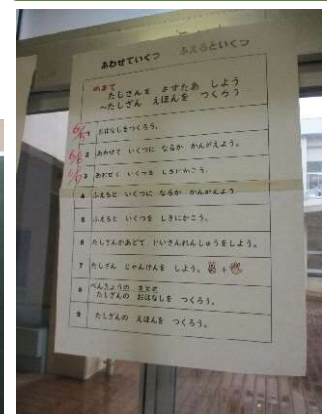
前時の板書を電子黒板で提示したり、本時の学びにつながる内容を授業冒頭で確認したりする

ノート指導・板書の工夫



子どものノートと同じボードを活用してノート指導を行う

学びに向かう環境づくり



国語科・算数科の単元計画、学習のきまり、並行読書材の準備等、子どもが学びに向かう環境を整えている

